



Foreign LUN Import の 1 つです

ONTAP FLI

NetApp
January 07, 2026

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/ontap-fli/san-migration/concept_foreign_lun_import_overview.html on January 07, 2026. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

Foreign LUN Import の 1 つです	1
Foreign LUN Import の概要を参照してください	1
Foreign LUN Import の機能	2
FLI ベースの解決策のメリット	3
LUN の要件と制限事項	3
制限	3
FLI でサポートされる構成	4

Foreign LUN Import の 1 つです

Foreign LUN Import の概要を参照してください

Foreign LUN Import (FLI) は、外部アレイ LUN からネットアップ LUN にデータを簡単かつ効率的にインポートできる ONTAP の組み込みの機能です。

FLI の移行処理はすべて LUN レベルで実行されます。FLI はあくまでブロックベースのツールです。ファイル、レコード、NFS、CIFS をベースとする移行はサポートしていません。NFSやCIFS / SMBなど、ファイルレベルのプロトコル向けのその他の移行方法については、を参照してください "[データ移行ツールクリックリファレンス](#)"。

ONTAPプロフェッショナル サービスによる移行は不要になりましたが、NetApp、最も単純な移行を除くすべての移行について、スコープ設定、計画、トレーニングにプロフェッショナル サービスが関与することを強く推奨しています。

FLI は、SAN LUN を ONTAP に移行するために開発されました。FLI は、次のようなさまざまな移行の要件に対応しています。

- EMC、Hitachi、HP、その他のベンダーの異機種ストレージ アレイ間でのデータの移行 (NetAppへ)。
- データセンターの移転や統合、アレイの交換に伴うブロックデータの移行を簡易化、迅速化
- 移行と LUN の再アライメントを 1 つのワークフローに統合。

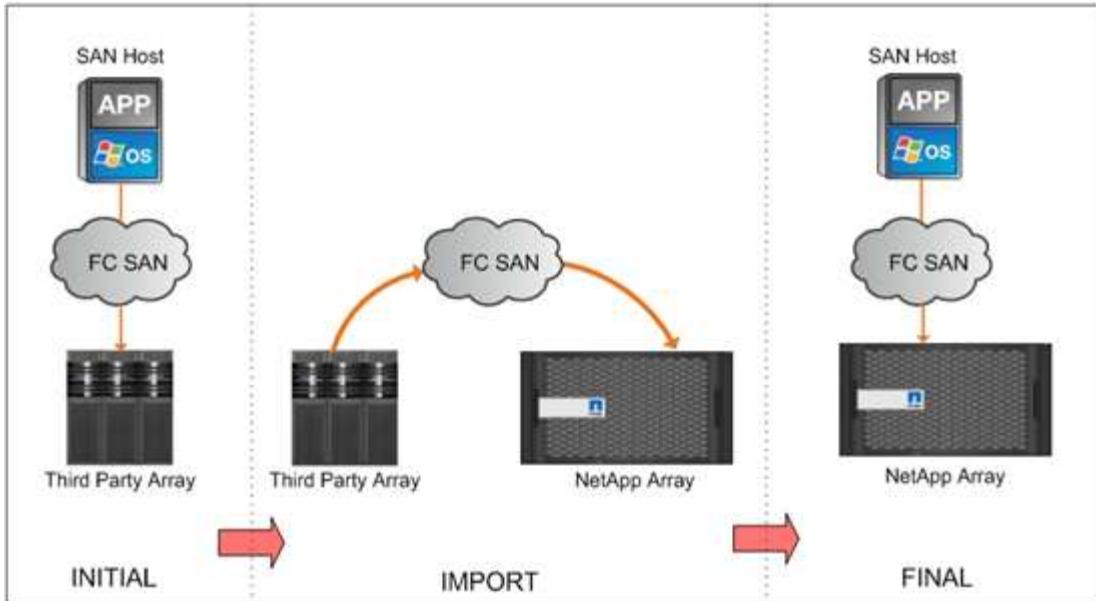
また、7-Mode から ONTAP への移行手順では、32 ビットアグリゲートから 64 ビットアグリゲートへの変換、アライメントの問題の修正、1 回の操作での LUN の移行を実行できます。

FLI を使用すると、ネットアップストレージでデータ移行用にインポートする LUN を検出できます。外部 LUN はネットアップストレージ上のディスクとして表示され、ユーザデータが誤って上書きされないように、所有権は自動的に割り当てられません。外部アレイ LUN を含むディスクは、外部としてマークする必要があります。ネットアップストレージに FLI を使用するには、外部アレイ LUN の構成に関するルールに厳密に従う必要があります。を参照してください。 [LUN の要件と制限事項](#)。

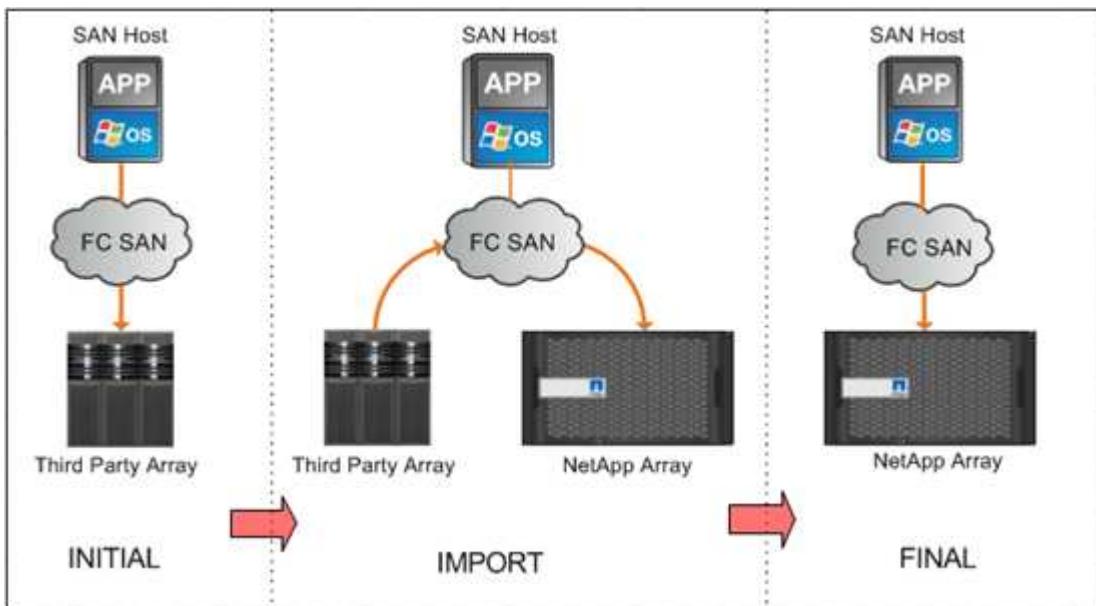
FLIでは、各コントローラに少なくとも1つの物理FCポートが必要であり、LUNをイニシエータモードで直接移行する必要があります。各ファブリックに1つずつ、合計2つのポートが推奨されますが、1つのポートでも構いません。これらのポートはソースアレイへの接続に使用され、ソースLUNを認識しマウントできるようにゾーニングとマスクを設定する必要があります。ポートをターゲットからイニシエータに変更する必要がある場合は、以下を参照してください。 ["FCアダプタの設定"](#)。

FLI の移行処理はオフラインまたはオンラインで実行できます。オフラインの場合はインポート中に中断を伴いますが、オンラインの場合は主に無停止で実行できます。

次の図は、FLI オフラインデータ移行を示しています。このデータ移行では、ホストをオフラインにしています。ネットアップアレイで他社製アレイからデータを直接コピーします。



次の図は、FLI オンライントラックデータ移行を示しています。新しい LUN をホストするネットアップコントローラにホストが接続されます。その後、ホスト処理を再開してインポート途中も継続できます。



Foreign LUN Import の機能

FLI の機能を使用すると、サードパーティの SAN ストレージから ONTAP システムにデータを移行できます。FLI の移行機能では、さまざまなプロセスやシステムがサポートされます。

- ・オンラインおよびオフラインの移行をサポート。
- ・オペレーティングシステムに依存しない：ブロックレベルのデータ移行は、ボリュームマネージャやオペレーティングシステムのユーティリティに依存しません。
- ・Fibre Channel ファブリックに依存しない：FLI は Brocade および Cisco の FC ファブリックとの完全な互換性を備えています。

- ・ほとんどの Fibre Channel ストレージアレイをサポート。サポートされているアレイの一覧については、Interoperability Matrix を参照してください。
- ・標準のマルチパスと負荷分散をサポート。
- ・CLI ベースの管理。
- ・関連情報 *

"NetApp Interoperability Matrix Tool で確認できます"

FLI ベースの解決策のメリット

FLI 解決策は、ネットアップのお客様に優れた価値とメリットを提供できるように設計されています。

- ・FLI は ONTAP に組み込まれているため、追加ライセンスは不要です。
- ・FLI では、データ移行用に追加のハードウェアアプライアンスは必要ありません。
- ・FLI ベースのソリューションは、さまざまなタイプの移行や他社製ストレージプラットフォームの構成をサポートしています。
- ・FLI では LUN のアライメントが自動的に行われるため、32 ビットアグリゲートでホストされている LUN を ONTAP アレイでホストされている 64 ビットアグリゲートに移行できます。そのため、FLI を使用した 7-Mode から ONTAP への移行は、7-Mode の 32 ビットアグリゲートでホストされている LUN やアライメントが正しくない LUN を移行するための最適な選択肢となります。

LUN の要件と制限事項

FLI 移行を開始する前に、LUN が次の要件を満たしている必要があります。

- ・FLI を実行するには、各コントローラに少なくとも 1 つの FC ポートが必要です。また、LUN をイニシエータモードで直接移行する必要があります。
- ・ONTAPからの割り当てを防ぐには、宛先アレイ上で外部 LUN を外部としてマークする必要があります。
- ・インポートを開始する前に、外部 LUN がインポート関係にある必要があります。
- ・LUN は外部 LUN と同じサイズである必要があります。この要件は、LUN の作成手順中に処理されます。
- ・外部 LUN ブロック サイズは 512 ビットである必要があります。NetApp LUN は 512b のブロック サイズのみをサポートします。
- ・LUN は、拡張も縮小もできません。
- ・LUN は少なくとも 1 つの igroup にマッピングされている必要があります。
- ・関係を作成する前に、NetApp LUN をオフラインにする必要があります。ただし、LUN 関係が作成された後、オンライン FLI の場合はオンラインに戻すことができます。

制限

- ・移行はすべて LUN レベルで行われます。
- ・FLI では Fibre Channel (FC) 接続のみがサポートされます。

- FLI では iSCSI 接続は直接はサポートされていません。FLI を使用して iSCSI LUN を移行するには、LUN タイプを FC に変更する必要があります。移行が完了したら、LUN タイプを iSCSI に戻します。

FLI でサポートされる構成

FLI の適切な運用とサポートのために、サポートされている方法で環境を導入する必要があります。エンジニアリングで新しい構成が認定されると、サポートされる構成のリストが変更されます。特定の構成がサポートされているかどうかを確認するには、NetApp Interoperability Matrix を参照してください。

サポートされるデスティネーションストレージは ONTAP 8.3 以降のみです。他社製ストレージへの移行はサポートされていません。

サポートされているソースストレージアレイ、スイッチ、およびファームウェアの一覧については、Interoperability Matrix を参照してください。データ移行プログラムでは、NetApp Interoperability Matrix に掲載されている構成がサポートされます。

インポートが完了し、すべての LUN がネットアップコントローラに移行されたら、すべての構成がサポートされていることを確認します。

- 関連情報 *

"[NetApp Interoperability Matrix Tool](#) で確認できます"

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。